

# 教師として生きる、 決意と努力を 支えていきます。

教師の仕事は、自ら育とうとする小さき生命に寄り添うこと。

希望という名の刺激を与え、生きる力を引き出し、個性の花を咲かせるのを忍耐と寛容をもって待ち続けること。

それは尊く、他では得られないやりがいを与えてくれる仕事です。

中京大学は1957年に教職課程が認可されて以降、半世紀にわたって全国規模で教員養成の役割を担ってきました。

10学部18学科を擁する現在も、全ての学部で教職課程を備え、毎年200名を超える卒業生が教師として採用されています。

教職センターは、その実績のもとに形成された卒業生のネットワークとともに、確かなしくみで、

教師になろうと決意したあなたを全力で支えていきます。

《中京大学教職センター》

## 中京大学が教師育成に強い理由

### 伝統と実績

半世紀にわたる安定した実績に基づく、教員養成の確かなノウハウ

中京大学は、「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」の建学の精神のもと、学術とスポーツとの創造的調和によって多様で豊かな学術成果を生みだすとともに、社会に貢献する優れた人材の輩出を目指しています。社会発展の基盤である教育に携わる人材育成もその目的のひとつであり、これまで半世紀以上にわたって教員養成に取り組んできました。現在も、毎年200名を超える卒業生が全国の学校に教師として採用されており、安定した実績のもとに教員養成の確かなノウハウを積み上げていきます。

### 支援体制

早期より体系的な支援を展開。卒業生も含め採用まで手厚くフォロー

教師に求められるのは、児童・生徒を導く教育力のもとより、教育へのゆるぎない情熱と使命感、子どもの人格を尊重する態度と深い愛情など。本学では、こうした教師に必要な資質づくりに関する支援を低年次から開始します。以後、教職課程および教員採用試験のスケジュールに応じた体系的な支援を切れ目なく展開。現役生のみならず、卒業生にも採用にいたるまで支援を継続していきます。

### 卒業生ネットワーク

全国で活躍する卒業生の協力を得て、教育現場における即戦力を養成

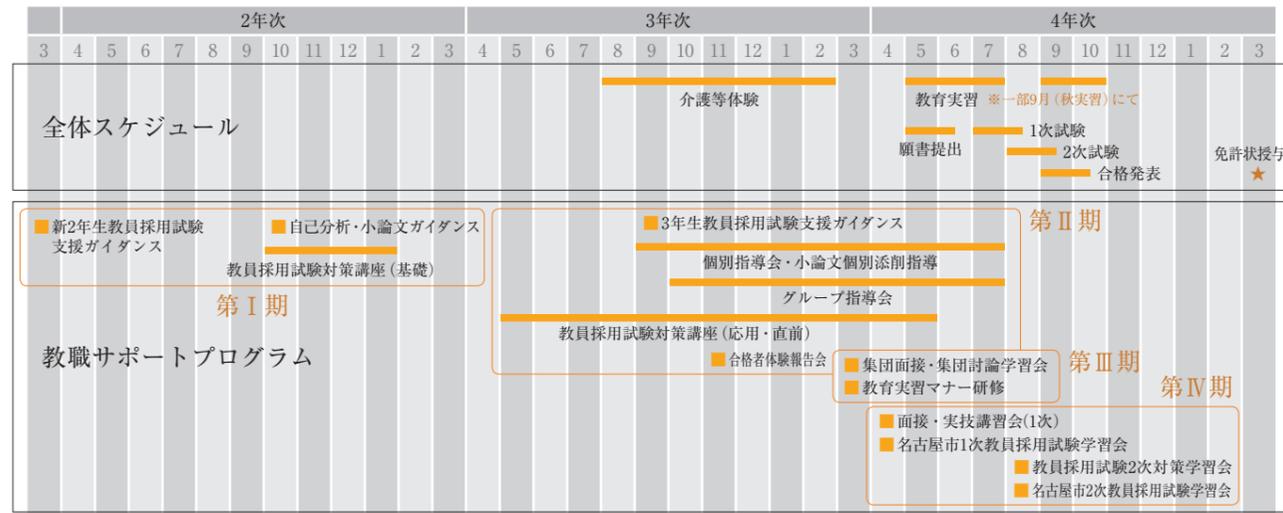
中京大学では、各学部における「教職担当教員」と、教職を目指す学生の教育・支援を専門に行う「教職センター」が連携し、目的意識を持続させながら効果的に学ぶ環境を整備。さらに、すでに教師として活躍する本学卒業生を招いた勉強会や講習会などを通して、教員採用試験の突破力とともに、すぐに第一線で働くことのできる姿勢づくりや実践力の育成に力を注いでいます。



# 早期からの段階的な目標設定と 充実した支援で合格をつかみとる。



教員免許状取得および教員採用試験合格に向けた支援内容 (一部抜粋)



>>> 期間ごとの目標 (あるべき姿)

第Ⅰ期: 教職課程開始	第Ⅱ期: 準備・基礎力養成期間	第Ⅲ期: スキルアップ期間	第Ⅳ期: 強化期間
「免許状取得」および「教員採用試験合格の最適な方法」を知っている	「教員採用試験の内容・仕組み」および「合格手法」を知っている	具体的な受験先を決定できている	受験対策の大部分を完了している
<input type="checkbox"/> 教職課程履修方法を知っている <input type="checkbox"/> 大学支援内容を知っている <input type="checkbox"/> 合格した先輩の合格手法を知っている	<input type="checkbox"/> 最適な勉強方法を知っている <input type="checkbox"/> 支援イベントに参加できている <input type="checkbox"/> 教職課程履修の各手続きができている	<input type="checkbox"/> 小論文や面接などの実力を身につけている <input type="checkbox"/> 自己分析ができている <input type="checkbox"/> 自分の教師像を明確にできている	<input type="checkbox"/> 試験対策は最後の仕上げをしている <input type="checkbox"/> 常に場面想定ができ、実習に参加できる <input type="checkbox"/> いつでも教師としてスタートができる



イベント紹介 (一部抜粋)

## 1. 支援ガイダンス

教師とは何か? — そのやりがいと厳しさを知る。

### 新2年生教員採用試験支援ガイダンス

「教師とは何か」や「教職のやりがいと厳しさ」について解説し、自身の目指す教師像を明確にします。同時に、教職課程および教員採用試験支援のスケジュールを紹介し、「これから何をすべきか」について考えます。

まずは自分の視野を広げ経験を積むこと。やるべきことがいっぱい。

2年生になる前に行われるガイダンスでした。教師を目指すためにいまからできることややるべきことがわからなかったのですが、ガイダンスを聞いてはつきりとわかりました。まずは視野を広げ失敗しながらでも経験を積むこと。やるべきことがいっぱいです。



現代社会学部3年  
杉山 いずみさん  
取得予定免許  
中学(社会)

合格へのモチベーションを高める。

### 3年生教員採用試験支援ガイダンス

合格率を上げるための受験方法、支援イベントと合格率の関係等、実績を踏まえ紹介します。教員採用試験に向けて、合格へのモチベーションを高める貴重な機会に。

教師への近道がわかり、これなら自分も合格できると思えた。

やる気がでた。それに応じてくれる大学に感謝した。

それに応じてくれる大学に感謝した。

(法学部3年)  
(国際学部3年)  
※新学部名称にて記載

イベント紹介 (一部抜粋)

## 2. 筆記試験対策

早期からの筆記試験対策で、スタートダッシュを。

### 教員採用試験対策講座(基礎)

一般教養と教職教養を広く学びます。筆記試験の重要性を理解したうえで、早期から学ぶ習慣を身につけます。

早くから試験の範囲や勉強方法を知ることができたのは自分にとってプラス!

試験に向けてはいろんな不安がありましたが、自分にできることからスタートしようと大学が用意してくれた講座を受けてみることにしました。講座の中では試験範囲やそれに対する具体的な対策を教えてくれるだけでなく、今後の見通しもきて、大学の授業やアルバイト、試験に向けた勉強など自分にあったスケジュールで進めることができました。



経済学部4年  
古川 慧人さん  
取得予定免許  
中学(社会)/高校(地歴・公民)

教員採用試験の突破力を高める。

### 教員採用試験対策講座(応用・直前)

教職教養を中心とした講義を1年半にわたり展開し、合格に必要な知識を身につけます。4年次では予想問題など、教員採用試験直前に活かせる試験対策も実施します。

試験勉強に過去問題集がとて役に立っています。

試験勉強に過去問題集がとて役に立っています。

(総合政策学部4年)

丁寧だけでなく覚えやすい方法も講義してくれる。

(経営学部4年)

イベント紹介 (一部抜粋)

## 3. 小論文・指導会

合格に向けた個別指導

### 個別指導会・小論文個別添削指導

学生一人ひとりに合わせた細かな指導。学習進捗に合わせてアドバイスも行います。また、小論文も徹底的に指導。合格につながる「書き方」を伝授します。

自分の弱点を中心に何度も丁寧に指導してもらえた。感謝しています!

(心理学部4年)

文章が苦手なので、合格できる書き方を知ることができてよかった。

(現代社会学部4年)

教職経験者から、リアルな教育現場を学ぶ。

### グループ指導会

教職経験者の指導のもと、集团面接や場面指導、集团討論などの試験を突破できる実力を養成します。

互いに評価しあうことで、短所も克服できただけでなく話し合う力もついた。

互いに評価しあうことで、短所も克服できただけでなく話し合う力もついた。

学部を超えたメンバーが集まっていたのははじめはなかなか発言もできませんでした。グループ討議も多いため自然と話し合える仲になりました。互いの良いところを評価しあって学ぶうちに、ライバルでありながらも励ましあって一緒に教壇に立つ夢を追いかける仲間であることを知りました。人物評価試験は一人では対策しにくいですがこの指導会を経て仲間とともに克服していこうと思います。

(スポーツ科学部4年)

文章が苦手なので、合格できる書き方を知ることができてよかった。

(現代社会学部4年)



スポーツ科学部4年  
石川 寛基さん  
取得予定免許  
中学(保健体育)/高校(保健体育)

試験直前の実践指導で、合格をつかむ!

### 面接・実技講習会(1次)/教員採用試験2次対策学習会

本学卒業生を講師に招き、教員採用試験合格に向けた具体的な対策を指導します。1次試験および2次試験の直前対策です。

本番のような緊張感、今まで知らなかった自分のマイナス面が発見できた。

これまでしっかり学び準備してきたつもりでこの講習会に臨みましたが、講師の先生による本番のような厳しい態度に緊張してしまい、実力を十分に発揮することができませんでした。これが本番だったらと想像すると愕然としました。けれど実力が出なかったからこそ気づいた弱点も。試験前までにこれを経験できたのは貴重でした。



心理学部卒  
神田 幸乃さん  
所得免許  
中学(社会)/小学校

### 卒業生との連携

教師を目指す卒業生も全力でサポート

既卒者支援の充実

大学が支援するさまざまなイベントには、学部生だけでなく、

卒業生の知識と経験をフィードバック

卒業生の知識と経験をフィードバック

卒業生教員ネットワーク

知識と経験を備えたベテラン教師の卒業生が、教師を目指す

学部生を学習会等で指導。さらに、教師となった卒業生で構成される部会が中心となり、新任教員をバックアップしています。

# 蓄積された確かなノウハウで、 毎年200名を超える教師を全国へ輩出。

## ◆教員採用試験実績（2019年度公立学校のみ）

2019年度合格者 合計 <b>237</b> 名	中学校	高等学校	中学校・高等学校	小学校	特別支援学校
	79名	36名	9名	73名	40名

## ◆主な教員採用試験合格先（2019年度）

愛知県立中学校／愛知県立高等学校／愛知県立小学校／名古屋市立中学校／岐阜県立中学校／岐阜県立高等学校／岐阜県立小学校  
三重県立中学校／三重県立高等学校／三重県立小学校／静岡県立中学校／静岡県立小学校／浜松市立中学校／埼玉県立中学校  
埼玉県立高等学校／群馬県立中学校／東京都立中学校／東京都立小学校／神奈川県立中学校／神奈川県立高等学校／神奈川県立小学校  
横浜市立中学校／横浜市立小学校／福井県立小学校／京都府立中学校／兵庫県立中学校／兵庫県立高等学校／兵庫県立小学校  
和歌山県立中学校／滋賀県立中学校／広島市立高等学校／山口県立中学校／愛媛県立中学校／愛媛県立高等学校／佐賀県立小学校  
大分県立中学校／熊本市立小学校 など

## ◆過去5年間の合格実績

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
全合格者数	233名	215名	221名	219名	237名
中学校	84名	74名	72名	69名	79名
高等学校	54名	33名	42名	48名	36名
中学校・高等学校	3名	2名	4名	4名	9名
小学校	56名	60名	62名	64名	73名
特別支援学校	36名	45名	39名	32名	40名
その他 (養教・校種不明)	0名	1名	2名	2名	0名

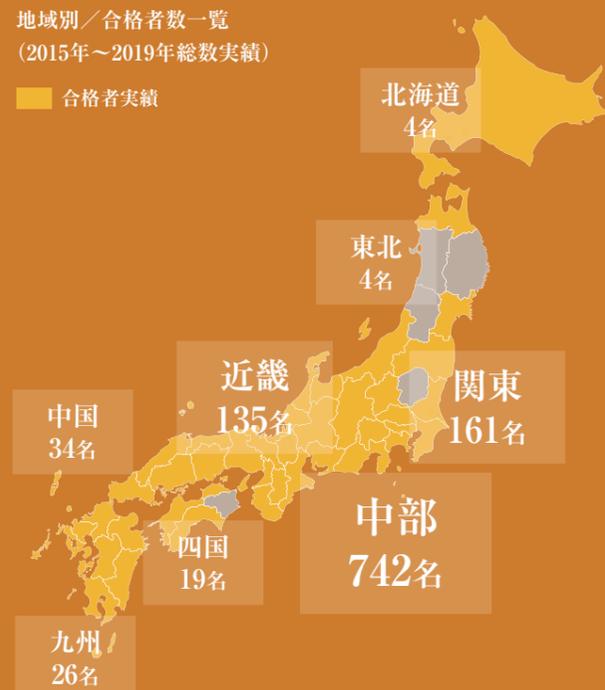
2015年～2019年度 合格者合計

# 1,125名

## ◆日本全国各地へ合格者を輩出

地域別／合格者数一覧  
(2015年～2019年総数実績)

■ 合格者実績



文学部4年 後藤 直人さん

取得予定免許：中学(国語)／高校(国語)



国際学部4年 佐藤 菜保さん

取得予定免許：中学(英語)／高校(英語)

※新学部名称にて記載



スポーツ科学部4年 杉浦 弘明さん

取得予定免許：中学(保健体育)／高校(保健体育)

## 先輩が築いてきた実績が高いモチベーションに。

自分が本当に教師になれるだろうか。そんな思いを抱いていた私が変わったきっかけは教職指導官の一言。「教師を目指すなら本気で取り組もう」という叱咤激励です。そして、具体的な教員採用試験の内容をはじめ、様々な情報やアドバイスをいただく中で迷いを払拭することができました。特に先輩方が残された実績は大きな励みに。前向きに取り組む力になりました。また、文学部日本文学科は、国語の教師を目指す

私にとっても恵まれた環境にあります。それは、古代から近現代まで、各時代を専門とする先生がそろっていること。専門分野の研究はもちろん、教師として求められる幅広い知識もしっかりと学べるところに魅力を感じています。将来、私が教師として重視したいのは読解力。情報が氾濫する時代だからこそ、批判的思考力を持って物事を見つめ、自分で考え、決断できる生徒を育てることが目標です。

## 実践経験での気づきが成長へのステップに。

教職センターは、何を勉強すればよいのか、どのような対策が必要なのか、わからなかった私にとって心強い存在。合格した先輩の体験談を聞き、目標への道筋が見えたように感じました。これまでの教職指導の中で印象に残っているのは模擬授業です。教師を目指す仲間を生徒に見たて、自分で考えた指導案をもとにオールイングリッシュで授業を行いました。授業後、先生はもちろんのこと仲間たちがくれ

る意見はとても貴重です。また、生徒役として仲間の授業を受ける際には、自分にはないものに気づくことも。教師と生徒、それぞれの立場を経験したからこそ見えるものがたくさんありました。私が目指しているのは、生徒一人ひとりと対話を大切にできる教師。そして生徒とともに成長し学び続けられる教師です。一つひとつ自分の課題を克服し、目指す教師像に近づいていきたいと思っています。

## 教育現場を知ることが教師へのスタートライン。

教師を本気で目指そうと決意したのは大学2年の夏。海外ボランティアに参加し、現地の子どもとふれあう中、教育に携わりたいと強く思いました。その後も、教職指導官から勧められ、学校ボランティアに参加。実際の教育現場で授業の補助を行いながら気づいたことは、先生が生徒のことを第一に考えていること。運動が苦手な生徒に対し、意欲的に取り組ませるためにはどうすればよいのか、先生が一人ひとりをしっかり

り見ていることに感銘を受けました。教職支援の中で私が継続的に活用しているのは個別指導会です。教員採用試験への取り組み方をはじめ、日頃の言葉遣いや立ち振る舞いなど、本当にきめ細やかなアドバイスをいただいています。私が目標としているのは、愛情を持って生徒と人間関係を築ける教師。卒業後は夢に向かって頑張ろうとしている生徒を応援してあげたいです。

## ◆取得可能な教員免許状（各自治体および私立学校の教員採用試験においては、取得免許状の要件を課していることがあります。）

中学校教諭一種	国際	文			心理	法	経済	経営	総合政策	現代社会		工	スポーツ科					
		言語*	歴史文化	日本語						言語表現	現代社会		社会学*	電気*	スポーツ*	スポーツ*	スポーツ*	競技
国語				●						●	●							
外国語(英語)	●																	
社会			●			●	●	●	●	●	●							
保健体育												●	☆	●	●	●	●	●
高等学校教諭一種	国際	文			心理	法	経済	経営	総合政策	現代社会		工	スポーツ科					
学科	言語*	歴史文化	日本語	言語表現						現代社会	社会学*		電気*	スポーツ*	スポーツ*	スポーツ*	競技	
国語			●	●						●	●							
書道			●	●														
外国語(英語)	●																	
公民					●	●	●	●	●	●	●							
地理歴史		●					●	●	●	●	●							
商業							●	●	●	●	●							
工業								●	●	●	●							
保健体育												●	☆	●	●	●	●	●

※2021年4月設置予定(届出手続中)。\*取得可能な学科・専攻のみ記載。☆2021年4月設置に向け申請中(文部科学省における審査の結果、予定している教職課程が変更となる可能性があります)。

## ◆通信課程による教員免許状取得プログラム

本学では提携校の通信課程を履修・修得することで卒業時に右記の免許状が取得できます。※履修に際して条件および学内選考等があります。また、別途学費等納付金が必要となります。右記の免許状を同時に取得することはできません。

●小学校教諭二種免許状(提携校:玉川大学通信教育課程)  
【取得可能学部学科専攻】文学部歴史文化学科、心理学部、法学部、現代社会学部現代社会学科(社会学専攻・コミュニティ学専攻)、スポーツ科学部スポーツ健康科学科・スポーツ教育学科

●特別支援学校教諭一種免許状(提携校:明星大学通信教育部)  
【取得可能学部学科】心理学部、法学部、経済学部、経営学部、総合政策学部、スポーツ科学部  
●高等学校教諭一種免許状[公民](提携校:玉川大学通信教育課程)  
【取得可能学部学科】文学部歴史文化学科

中京大学

教職センター

■名古屋キャンパス  
〒466-8666 愛知県名古屋市長和区八事本町101-2  
TEL: 052-835-7162 FAX: 052-835-7164

■豊田キャンパス  
〒470-0393 愛知県豊田市津町床立101  
TEL: 0565-46-1231 FAX: 0565-46-1233

# 即戦力となる真の教師を目指して



## 合格の先を見据え、実践的な指導を展開。

中京大学の教職支援は単に、教員採用試験を合格させるだけの指導に留まりません。

もちろん、合格を目指す学生の希望に応える支援は早い段階から手厚く行っており、

毎年200名を超える合格者を輩出。これがさらなる支援の糧となっています。

しかし、「合格」のみが本学教職センターの目的ではありません。現役合格した学生だけではなく

講師としても卒業後、教壇に立つ上では即戦力となることが期待されており、

こうした現場の期待に応えうる実践力と豊かな社会性を育む多彩な指導を展開。

4月から一人の教育者として先輩教員はもちろん、生徒や児童、保護者からも必要とされる

本物の力を有する「真の教師」の育成を目指しています。

## 教職支援における中京大学の取り組み

教員採用試験後より、合格者はもちろん講師として学校現場で働く人も含め、実際に教壇に立つ上で必要な実践的指導力（生徒指導力・教科指導力・学級経営力等）の基礎・基本の習得を目指した指導を行っています。

●指導内容…学校現場を知る／教員の仕事を知る／教員としての感性とセンスを磨く／評価と評定／学校行事／学級経営／授業経営／生徒指導／危機管理／保護者対応／障害のある児童・生徒や問題行動への対応／着任式でのあいさつ、学級生徒への話、授業での話など／常勤講師、非常勤講師について／目指す教師像、育てたい子ども像の明確化と目指す授業の構造化 など

### 授業ピックアップ

#### 「学級だより」をつくってみる

実際に「学級だより4月号」を作成し、一人ひとり発表することを通して、学級だよりの役割や効果、学校の目標や方針との関連、言葉使いや文章化についての注意等について学びます。さらに、それぞれの発表内容についてグループ討議し、「わかりやすい、伝わりやすい話し方」について理解を深めます。

#### 「いじめ」への対応について

実際にあった事例からロールプレイングとその後グループ討議によって、どんな方法が最も適切だったかを共有します。また、いじめや不登校の定義や実態について学ぶとともに、問題を抱える生徒・児童からのサインを見逃さないための方法や、いじめを許さない学級・学校づくり等について学んでいきます。

### I 実践的指導力の 基礎・基本の習得

### II 教育委員会との 連携事業

本学と個別協定を締結している名古屋市および豊田市の学校を中心に現場で学ぶ機会を提供。実際に児童・生徒とふれあい、教育・指導を体験することによって確かな実践力を育みます。



### 連携事業ピックアップ

#### 保健体育授業補助

中学校の保健体育の授業に、体育専攻の学生がその専門性を生かして指導教員の補助をすることにより、保健体育の授業の一層の充実を図っています。

派遣先：中学校（保健体育）

#### 部活動外部指導者

小学校・中学校・高等学校のそれぞれの部活動に本学学生が参加。部活動教員指導者の指示のもと、専門的な技術指導を行っています。

派遣先：小学校・中学校・高等学校の指定クラブ

### III 教職の授業における 学校現場との連携

学校現場との連携のもと、本学教員が学生とともに学校を訪問し、児童・生徒の視野を広げる専門性の高い授業を実施。教職を目指す学生は、授業の補助を通して直接子どもたちと接し、教育指導の経験を重ねていきます。また、この授業は、連携先の学校の先生たちの研究論文作成や総合学習への応用など、さらなる教育力の向上にも役立てられています。

### 事例紹介

#### 縄跳び（ビーズロープ）授業

小学校6年生のクラスを対象とした縄跳びの授業を、実習校の教員とともに本学学生が担当。指導は手本に留めて児童が自ら考える力を育み、互いに教えあう環境づくりによって協調性を育てます。必ずできるようになる種目のため、学生も児童も成長の変化を目の当たりにできます。

#### 専門性を生かした出前授業

教育機関の要望にあわせ本学教員が出前授業を行います。今までにダンスの表現指導やラグビーなどのスポーツ競技の魅力やルールを、専門の教員が学校へ訪問し直接指導を行っています。今後も、学校現場が取り組んでいる活動や時代に合わせた様々な領域での派遣をすすめていきます。